

学校食育研究会



近年、偏った栄養摂取、朝食欠食、食生活の乱れや肥満・痩身傾向など、子どもたちの健康を取り巻く問題が深刻化しています。（文部科学省ホームページより）

令和5年度全国学力・学習状況調査の児童・生徒質問紙において、「朝食を毎日食べていますか」という質問に対して、「食べている」「どちらかといえば食べている」と答えた泉佐野市の児童生徒の割合は、小学6年生で88.7%、中学3年生で88.2%でした。これは、全国（小学6年生・93.9%、中学3年生・91.2%）の値に比べても低く、約1割の児童生徒が朝食を食べていないという実態があります。

朝食をきちんと摂ることは、子どもたちの成長にとって極めて重要であり、学校において、子どもたちが食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付けることが不可欠です。

そこで、泉佐野市教育委員会としては、学校における食に関する指導や取組の情報交換、意見交換を行い、各学校における食育を組織的・計画的に推進する目的で、「学校食育研究会」を設置しています。研究会では、各校の食育担当者と市内の栄養教諭が連携しながら、食に関する指導の研究を推進しています。令和4年度から令和5年度にかけては、「SDGsと食の関連」をテーマに研究を進め、各校においては、様々な教科の中で、多様な観点での食育の授業が展開されています。

食育は、学校において取り組むだけでなく、家庭そして地域が緊密に協力し合い、取り組んでいくことが重要です。子どもたちのより豊かで健やかな未来のために、3者で協力して取り組んでいきたいと思います。

学校園紹介



職業体験を再開しました
～長南中学校～

長南中学校では、『生きてはたらく学力』を身につけた生徒を「めざす生徒像」とし、人権教育を柱に様々な教育活動にとりくんでおり、そのひとつにキャリア教育があります。



長南中学校区では、校区内のこども園・小学校・中学校で11年間を見通したキャリア教育全体指導計画を作成し計画に基づいたとりくみを進めています。中学2年生では「職業観を育み、将来への展望をもつ」を目標に掲げ、「社会の一員となる意義を考え、自覚をもつ」ことを目的とし、中心的な活動として職業体験学習を行うこととしています。コロナ禍のため3年間その実施の見送りが余儀なくされてきましたが、本年度は4年ぶりに実施することができました。

本校の特色としては、生徒1人ひとりが「各事業所に1人で赴くこと」「3日間体験学習を行うこと」があげられます。このことにより各事業所での学びをより深いものにできると考えています。体験当日はもとより、事前事後の学習を通して実りあるとりくみとなりました。



むかし遊び交流会復活
～長南小学校～

本校では「地域学習」について6学年に渡って系統的に大切にとりくんでいます。2年生は地域のみなさんを招待してむかし遊びを教えてもらったり、一緒に楽しんだりする交流があります。



コロナ禍を経て、昨秋やっと多くの人に案内し、来校してもらうことができ、2年生がみんなで楽しく「むかし遊び」を体験することができました。

地域のみなさんからは、「楽しかった」や、「来年も来ます」など、嬉しい感想をたくさんいただきました。

